

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227

広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成25年2月(2013年) No.566

平成24年度 年度賞発表

特別大賞に黒田氏の「家族で受け継ぐ無形文化財」 年度賞は高瀬、上田、井上の3氏が受賞

平成24年度は166本の作品が出品されましたが、各作品の中から特に優秀と評価された作品に贈られるOMC年度賞には、次の作品選ばれました。

■特別大賞	黒田敏彦さん	家族で受け継ぐ無形文化財	19分
■年度優秀賞	高瀬辰雄さん	祈りの山	8分
■年度秀作賞	上田吉巳さん	京都東山花灯路	6分
■チャレンジ賞	井上勝彦さん		6分

(評)

黒田作品は石川県珠洲市で揚げ浜式製塩を守り続ける5代目浜士、角花豊さん62歳を取材された本格的ニューマンドキュメンタリーとして、特別大賞に審査員全員一致で決定いたしました。なおこの作品は丹波篠山全国コンにおいてグランプリに選出されました。高瀬作品の「祈りの山」は伏見稻荷をテーマに見事な作品に仕上げられたことが評価されました。上田作品の「京都東山花灯路」は、夜間の灯りを夢想的に表現されてうまく纏められたことが評価されました。井上作品の「皆既月食撮影顛末記」は、技術的にも難しい月食の様子を優れた技術で克服された力量と新しい分野に常に挑戦される井上会員の姿勢が評価されました。

審査は、世話役の中から選ばれた幹事(全員日本アマチュア映像作家連盟会員)によって公平な審査のもと、投票によって決定されました。

今回は受賞には至らなかったが、甲乙つけがたい作品が多く見られて選定には大いに悩むところがありました。今後も良い作品を期待します。

2月例会のお知らせ

2月例会は第4土曜23日18時より、いつもの難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。まだ寒い季節ですので風邪など召さぬようご準備の上お越し下さい。楽しい例会にどうぞお越しを。

黒田作品 見事グランプリに

2月3日(日)に開催された丹波篠山ビデオ大賞コンテスにおいて、黒田先生の「家族で受け継ぐ無形文化財」が見事にグランプリに輝きました。誠にめでたうございます。ノミネートされた8本の中でも圧倒的に輝いていました。関東及び中部の有名作家作品を凌駕して燦然と輝いていました。これで一昨年、昨年、今年と3年連続してOMCが入賞を果たし、且つ2年連続してグランプリを獲得するという快挙を果たしました。丹波篠山コンは地方都市開催ながら全国的に名高く日本の有名作家が応募されます。この快挙に続いてOMC会員各位も引きつづいて今年の丹波篠山コンに応募して入賞して欲しいと願っています。(前田記)

世話役に新しく高瀬、森下氏

昨年度、書記を担当して頂いていた宮井健世話役が退会されたので、代わりに高瀬氏にお願いして書記役を担って頂くことになりました。また、関副会長が健康上の理由で書記役を降りられましたので、代役として河合世話役に新書記役になって頂くことに、そして受付兼照明係を森下氏にお願いすることに。いずれもどうぞよろしく。

年間毎回出席者は9名

年12回開催している定例会に年間を通じて一回も休まずに出席する、ということは大変な事だと思います。高齢化が進む今、体調管理に注意され、他の用事より例会を優先してスケジュールを組んで頂いている結果だと思ひ感謝の至りです。

■12回出席者：有村、江村、岡本、黒田、合原、高瀬、華岡、前田、森下の9氏。

■11回出席者：井上、紙本、河合、進藤宮崎の5氏。

全例会作品出品者は江村、華岡氏

■12作品出品者：江村、華岡の両氏

■11作品出品者：有村、紙本、高瀬3氏

■10作品出品者：進藤氏

以上、平成24年度総会資料からの抜粋を掲載いたしました。

例会に毎回出席の上、作品も作ってこら

れる、というそのバイタリティーと映像にかける情熱に敬意を表します。例会に出られる、作品をつくってくる、ということは健康のあかし、お元気であることの証です。

一方、足腰が、作る意欲が…と悩む方も増えてきている事も事実です。元気のある方は全体のリーダー役として期待大です。

12月例会のレポート

年もあらたまり本年最初の例会は、13日(第2日曜日)総会と新年会を兼ねて午後1時より開催された。山口県にお住まいを移された河口会員も作品持参ではるばる顔を見せられ、合わせて22名の出席者で賑やかに例会が始まりました。

今月の司会是有村氏、上映担当は江村、河合の両氏、受付は紙本、華岡の両氏、書記は岡本氏で進行しました。

■出席者：有村、上田、江藤、江村、岡本、上総、紙本、河合、河口、黒田、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本の22名でした。

■上映作品(今月の講評は岡本世話役です)

1. 平城京・音と光の祭典(DV)

岡本至弘さん 12分00秒

昨年の8月24日～26日に平城京跡で開催された「平城京天平祭」を26日夕刻より撮影に行ってきました。この天平祭は平城遷都1300年を記念して2010年から始まったイベントで大極殿の前ではろうそくの揺らめく灯りの灯火会、音と光で包む「平城京・音と光の祭典」、光る天平衣装を身にまとい練り歩く天平行列などをカメラに収めましたが、観光客の雑音や夜間の為行列の顔が映らなく、思ったような作品になりませんでした。西大寺方面出口より撮影した闇に浮かぶ大極殿がやけに綺麗でした。

2. 初詣(BD)

進藤信男さん 8分50秒

毎年干支をテーマにした作品を作り続けている作者、今年は巳年ということで新年早々、奈良県桜井市にある、大神(おおみわ)神社に初詣で行かれた作品です。この神社は、三輪山をご神体としており、三輪の神は蛇神だと伝えられているようで

す。作者も画面に登場しながら初詣で風景を映されていきました。神の化身とも言われる蛇さんに今年もいい年にしていただけるように祈りたいものです。

3. 信州秋彩（あきのいろどり）（BD）

河合原七郎さん 7分23秒

タイトルにあるように信州の山々の紅葉を撮影されたものですが、詳しい場所は画面からは解りません。10月初旬に行かれたようですが、紅葉には少し早かったようで、一週間ほど遅らせれば青空をバックに紅葉とのコントラストがすばらしかったことでしょう。

4. 余部の海（BD）

江村一郎さん 6分00秒

余部を撮りつづけている作者、昨年正月にいかれたものです。日本海の荒れ狂う海の画面から始まりますがところどころに町の雪景色や神社の祭礼の様子が突然映りますので違和感があるとの意見がでました。タイトルどおりに荒れ狂う海ばかりにまとめるか、タイトルを変えたほうがよいかもかもしれませんね。たくさん映像をもっておられますので次回作を期待しています。

5. トロードス地方（キプロス）（BD）

華岡 汪さん 11分25秒

地中海に浮かぶ島国キプロスを訪ねられた作品。前回、前々回につづいての3作品目です。キプロスは四国の半分ほどの小さな島国ですが、文化的建造物や数々の遺跡があり観光資源に恵まれたところだそうです。前々回はレメソス、前回はパフォス今回はそれより北のトロードス地方です。ツアー旅行のため、バスで移動しながら古い教会などを訪ねられていますが、移動中のバスの音が気になります。また日本語のガイドさんの声をナレーションがわりにしていますが、聞き取りにくいところや画面とあってないところがありますので、いっそ消してしまっただけでナレーションをいれなおした方がいいかも分かりません。前回の講評に現地音がなすすぎるとの意見でしたので今回は前編いれられています。ところが不必要な音は消された方がすっきりするとわたしは思います。それにしてもいいところ

を拝見させていただきました。

6. 仏教誕生の地（BD）

山本正夢さん 8分00秒

先月インドへ行ってきましたと作者。いつも海外編の作品で楽しませてくれます。今回はインドの東部にある尼蓮河のほとりにある仏教の聖地、ブッタガヤです。仏陀が悟りをひらいたとされる菩提寺やそのまわりにある各国各宗派の寺院、日本寺、チベット寺、タイ寺院など仏陀の菩提樹、沐浴の蓮池が登場します。仏教の創始者ブッタが悟りを開いた聖地を拝見させていただきました。

7. 演歌と共に（BD）

河口禮志さん 16分00秒

数多くの名作を作られている作者ですがOMCに入会されて初めての出品とのことです。全国転勤族から定年退職されて郷里の山口県周南市にお住まいを移されはるばる出席されました。この作品は、プロのレコード歌手、北海まさるさんこと末釜久之さんの出会いから始まります。最初の出会いは今から18年前のこと親戚の結婚式の披露宴で歌をうたっておられていました。2回目は親戚の葬式の時に会いました。この時は接点はありませんでしたが、時はながれて一昨年郷里の自宅を改装するにあたり、同級生の大工さんに依頼をしたところ、その材料を運んできた建材店の社長さん、あれっ、見たことがある。その人はあの時の、歌のうまい人であった。このときに初めて親戚の親戚であったことが知ったとのことです。そして市民会館で行われた歌謡祭で出演された歌手は末釜久之さんこと北海まさるさんでした。そしてカラオケ教室の先生でもあったのです。作者もこのカラオケ教室の生徒してのお付き合いが始まったということです。楽しい作品を拝見しました。

8. ケヤキの神（BD）

上田吉巳さん 4分20秒

「ケヤキの神」についてネットで調べてみました。貝塚市出身のロック歌手である池田昭二さんが歌っている曲名だそうです。この歌手は泉州地区を中心に活動を行っており、現代ではだんじりに欠かせない

存在となっているようです。またこの曲は泉佐野市で結成された、「泉州ソーリヤ踊り子隊」のダンス曲にもなっているようです。さてこの作品の副題に「ヨサコイとだんじり」とありましたので意味がわかりました。岸和田のだんじりと泉佐野のヨサコイおどりを画面で合成されてつくられています。この曲に合わせて迫力のあるだんじりとテンポのいいよさこいのおどりがうまくかみあってリズム感のある作品になりました。歌詞にもあるように「老いも若きも重なり合って 声を出す 腹あて、鉢巻き揃いのハッピーにバッチ姿がよく似合う泉州男がケヤキの神を引き回す間違いおこせば電柱も壊す…」まさに電柱が倒れるシーンなぞ迫力ある作品になりました。

9. 大原女がゆく (BD)

森口正吉さん 9分40秒

今年の5月例会で発表された12分の作品を改作されました。前回の作品の詳細な記憶は薄れつつありますが、見やすくなったような気がします。作品の詳しい内容は省きますが大原女時代行列で京都大原勝林院から寂光院まで約2時間かけて歩く時代行列で初夏の新緑に映える大原女のあぜやかな姿が画面いっぱいにあふれていました。

10. 齊王群行 (BD)

紙本 勝さん 15分20秒

平安時代に京都から伊勢にかけて、齊王群行は平安京から齊宮へ行くことになり、齊王は腰輿という輿に乗られて五泊六日の長い旅をされ、お供の人達が付き添い齊王による禊や雅やかな平安衣装を身にまとった華やかな道中絵巻を再現されたものを纏められました。よく調べられてご自身もその道中泊されたところを100キロほど歩かれたようで大作となりました。いにしへの面影を忍ぶことができました。

11. 秋色 (BD)

前田茂夫さん 6分00秒

紅葉の季節、京都府乙訓郡大山崎の山崎聖天さんと宝積寺の紅葉を撮影されています。ここは紅葉の名所とされていてお天気もよく青空と紅葉のコントラストが綺麗でした。

12. 光のルネサンス (BD)

有村 博さん 8分00秒

毎年冬季におこなわれている「OSAKA光のルネサンス」で去年のを撮られました。水都大阪のシンボルとして中の島・御堂筋の光のイルミネーションです。いちよう並木のイルミネーションや行き交う車のヘッドライトとのコラボレーション、大阪中央公会堂の建物に投影される光がきれいでした。

13. 金閣寺 (BD)

高瀬辰雄さん 4分00秒

京都、冬の金閣寺を一昨年と昨年撮影されたのをまとめられました。最初は晴天の日の金閣寺、そして雨雪まじり、そして吹雪の中、やがて晴天の青空をバックに冠雪の金閣寺で順序よくまとめられました。三脚禁止なので手持ちとのことですが安定して撮られていました。ご苦労様。

14. ドイツ人夫妻を訪ねて (HDV)

江藤洋司さん 13分05秒

今年の4月にドイツに旅行された映像です。ブリュッセル南駅から映像ははじまり街の風景などが映し出されますが、この作品のストーリーがよく理解できません。このタイトルからみれば、なんの目的でドイツのご夫妻をたずねられたのか、どの方がご夫妻なのか紹介から始めてほしかった。映像からそれらしき人物は想像できますがよくわかりません。おそらくそのご夫妻のご自宅にステイされたと思います。車でどこどこに案内されたとか説明がほしかったです。このご夫妻の映像カットをもっといれられて夫妻と作者の会話など表現されればこの作品は生きてくると思います。もっとたくさん映像を収録されていると思いますので整理をされて筋書きをたてて構成されればりっぱな作品になることを期待しております。

15. 引き裂かれた恋の歌 (BD)

鉄具嘉夫さん 10分00秒

この作品上映時、リモコンのバッテリーの故障で音声のトラブルがあり上映ができませんでしたので次回の例会に延期になりました。鉄具さんごめんなさい。次回よろしくをお願いします。